



菩提寺まちづくり協議会

平成23年3月25日

# まち協だより 11号

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-60-1381

発行責任者 事務局長 田畑 一佳



## クライストチャーチは

**よそ事ではない！！**

安全環境委員会 藤原 光司

2011年1月7日で、阪神淡路大震災から丸16年を迎えました。

当時、地震といえば、東海地区から東のイメージが強く、まさか神戸に起きるとは、誰が想像したでしょうか。滋賀の湖南地域（草津市栗東市野洲市）で震度6以上の地震の発生する可

能性は20%以上と、昨年行われた防災訓練で発表されました。直下型地震は、突然どこで発生するか分かりませんので、家具類の転倒防止、防火用品の点検と準備をしておくことはもちろん、家族間で話し合っ、緊急避難場所や集合場所を決めておくことも必要です。

また、近隣の方々と助け合える環境作りに欠かせないコミュニケーションをはかることも、大変重要です。

今後も『まちづくり協議会』では、講演会や講習会を開催して、菩提寺地域にお住まいの皆様に、過去の教訓や知識を提供していきたいと思ひます。



昨年9月の「滋賀県総合防災訓練」風景



## 2回目のフリーマーケット

地域活性化委員会

浅井 基義

平成22年12月23日（木）に、第2回フリーマーケットを菩提寺商店会さんと共同で開

催いたしました。大勢の方にお越し頂き、地域交流の良い機会となったと思ひております。

とても寒い日でしたが、出店者の皆様、また菩提寺の朝市会、水無月会の皆様にも、新鮮野菜と地元特産品の販売をして頂きました。まち協からは、豚汁の提供と生ごみリサイクルの実演展示を行いました。今年度の夏と冬2回の開催実績を踏まえて、次年度以降も地域循環型のまちづくりについて考えていきます。今後も皆様のご協力・イベント等への参加をお待ちしております。



## 生ごみリサイクル

平成22年10月2日、12月23日に生ごみリサイクルの講習会を開催しました。また、12月4日には生ごみリサイクル情報交換会を行い、皆様からのご意見やご質問などを頂戴し活発な意見交換を行い、有意義な交換会が開催出来ました。既に100名を超える方が生ごみリサイクルに取り組みされており、地域のごみ減量につながっています。これからも生ごみリサイクルのモニター募集を実施していきますので、皆様も生ごみリサイクルに挑戦してみませんか、お待ちしております。



## 卒業式を待つビオラの花

人づくり委員会

廣瀬 保

小学校の環境整備で、花を毎年植えています。昨年の9月12日に小さなビオラの種を蒔き、10月23日にポットに植え替え、11月25日に菩提寺小学校の中庭に200本、菩提寺北

咲こうと出番を待っております。

ところで、ビオラとパンジーはよく似ていますが、その違いについて調べてみると、両者の区別のしかたはかなり曖昧でした。花径5cm以上をパンジー、4cm以下をビオラとすることが多く、ビオラは、パンジーに比べて開花期がやや短い、その分強健で、栽培が容易である。現在では、見た目が豪華なのがパンジー、かわいらしいのはビオラとするなど、かなり主観的な分け方になっているようです。スミレ科で一年草、ヨーロッパ～西アジアが原産。原種が紫色だったことから、バイオレットにちなんでビオラと命名されたとか。



小学校にはフラワーポットに180本を植えました。この花たちは3月18日の卒業式と4月の入学式に、精一杯

花言葉は「少女の恋」「誠実な恋」



## 「暮らし支えあい」アンケートから 暮らし支えあい委員会 保田 芳利

これからのまちづくりの参考にするため、平成22年11月14日の菩提寺まちづくりセンター祭りにおいて、学区民の意識や動向をアンケート調査しました。調査は来場の158名の方にご協力を頂き、結果の概要は次の通りです。

### Q 日ごろの生活の中での不安や悩みは？

「自分や家族の健康・老後のこと」「子どもの教育」への不安や悩みが多いようです。また、友人・知人や近所の人を相談相手としている人が多く、いかに地域の住民同士の支え合いが大切か伺えます。

### Q あなたは福祉に関心をお持ちですか？

実に90%の方が、「福祉に関心あり」と回答されるなど、地域福祉活動に対して前向きな姿勢を持っておられることが伺えます。今後は、さらに“地域のために、助け合いや協力をして行きたい”という思いを、実際のアクションにつなげるための仕組みづくりが必要となります。

### Q 今後どのような地域になれば住みやすいと思いますか？

「幅広い年代の区民が交流できるまち」「高齢者がいきいきと元気で暮らせるまち」「子育てを安心してできるまち」「犯罪のない安心・安全なまち」を求める回答が多数見られました。

このアンケート結果を踏まえ、地域住民がみんな協力して、安心・安全でいきいきと元気で暮らせるまちづくりを目指して、取り組んで

行きます。

※アンケート結果の詳細は菩提寺まちづくりセンター内のまち協サロンに展示してあります。



## より便利になります

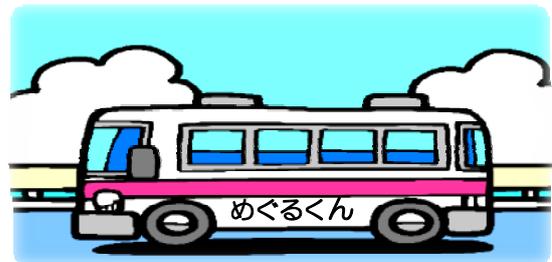
### コミュニティバス



#### みどりの村団地内乗り入れがスタート

暮らし支えあい委員会では、コミュニティバスの利便性向上と利用者促進活動にも、取り組んできました。

4月1日からのダイヤ改正に伴い、かねてより要望の強かったみどりの村団地内への乗り入れが、甲西駅ルート of 8時台から16時台の全5本でスタートします。又、北山台にも、北山台2丁目に停留所が新設されることになりました。



コミュニティバスの名称についても、旧甲西町と旧石部町で不統一でありましたが、4月から「めぐるくん」に統一することが決まりました。ボディーカラーの統一や小型バスの導入等も順次実施される予定です。今後も利用しやすいコミュニティバスとなるよう、市やバス会社と協議をしていきます。





## さらに、一步「歴史の小径整備」

文化芸術委員会 高井 義三

菩提寺まちづくり協議会も、発足以来3年が過ぎようとしております。

「まちづくり」とは、一朝一夕に又完璧に事が運ぶとは考えられません。息長く「住みよい街を作る」という目標を外すことなく進めることが大切だと思います。そこで今年度の文化芸術委員会では、「歴史の小径の整備」と「多宝塔周辺ガイドマップ看板設置」それに「小学生による歴史散策マップ」を作成しました。



ひとりでも多くの地域の人達や、他地域の方々が訪れて頂けることを願っております。

来年度には、「谷城跡」にも近づけるように、歴史の小径整備を進めたいと考えております。さらに住民の方々の協力を得て、花木の苗植え等も予定しています。

菩提寺の四季折々の風景や史跡・遺跡をビデオに撮り編集して、学校やコミュニティーセンター等で広く紹介して、我が郷土を理解してもらえる資料にしたいと思います。



## 人づくり委も参加！ 北学区の“スプリングカーニバル”

去る3月5日に、菩提寺北小で、各種ボランティア（老人会、



民生委員、日赤奉仕団、サポーター会、地域の方々、先生、保護者、4～5年の子どもボラ、あすなる応援団）さん達による「おやこふれあい あすなる スプリングカーニバル」が開催されました。当日は、コマ回し、羽つき、お手玉等の遊びや餅つき、豚汁が振る舞われたりしました。大阪ガスや関電によって、子ども向けエコ関連の展示や実験もありました。まち協人づくり委員会のわりばしとゴムで作るわりばし鉄砲が子ども達の人気を集め、用意した輪ゴムが足りなくなる程の大盛況でした。また、赤いエプロン掛けの、きびきびと動き回る4～5年生女子ボラの一生懸命な姿が、とても印象に残りました。

尚、当日の参加者は、ボランティアを含めて総勢270名と、たいへんな賑わいでした。

まち協 広報係

